



## 「プラザちゅうたい」から 生まれた「市民スポーツ」

市体育指導委員協議会(※)では、今までにソフトバレーボールや綱引を「市民スポーツ」として広めてきました。現在はキンボールの普及を進めています。

※市体育指導委員協議会  
地域住民のスポーツ活動の促進や、ニュースポーツの普及などを図る市の団体です。



▲MT夢クラブ21指導員研修会(キンボール体験)

### KIN-BALL (キンボール)

「キンボール」とは、3チーム(最大36人)が直径122センチのボールを使用し、サーブとレシーブを繰り返し得点を競うユニークなスポーツのことです。

カナダ生まれの「キンボール」は、運動能力に関係なく誰でもすぐに楽しめるスポーツとして昭和63年に確立され、日本には平成9年に紹介されました。

キンボールを多くの市民の皆さんに知ってもらうために、昨年から市体育指導委員が中心となって、学校や「プラザちゅうたい」で研修会を実施しています。

### 綱 引

平成10年に岐阜県で開催された全国スポーツレクリエーション祭で、「プラザちゅうたい」が綱引会場になったこともあり、「綱引」が身近なスポーツとして、市民の皆さんに知られるようになりました。

平成9年から始まった「市民綱引大会」も今年の12月で7回目を迎え、毎年、年齢性別を問わず、多くのチームが参加しています。

現在「綱引」は、市綱引連盟が中心となり、「生涯スポーツ」として楽しむことを目的に活動を続けるとともに、「市民スポーツ」としての「綱引」の普及を進めています。



▲第6回市民綱引大会

### ソフトバレーボール

「ソフトバレーボール」は、いつでも誰でも気軽にできるスポーツとして全国に普及しました。

市内で本格的に広まり始めたのは平成7年からで、市体育指導委員、体育委員が中心となり、各地で「ソフトバレーボール教室」を開いたことがきっかけでした。

平成3年から開催されるようになった「市民ソフトバレーボール大会」も、今年の大会で13回目を迎え、41チームが熱戦を繰り広げるまでになりました。

「ソフトバレーボール」は短期間で多くの人々に受け入れられた「市民スポーツ」の一つです。



▲第13回市民ソフトバレーボール大会